

平成27年度 ケアステーションらふたあ事業報告書

『居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援・介護保険』

社会福祉法人ばなな ケアステーションらふたあ

文責：志田山 記子

植 林 保寿

1. 事業の実施方針

平成27年度はサービス提供責任者がきめ細かく、支援内容の充実と把握を行うため、相談支援との情報共有化と充実を図った。収支のバランスを整えるべく、現利用者から、新規ニーズの掘り起こしも行い、ニーズに沿った支援を提供してきた。

2. 事業の実施に係る事項

1. 相談支援（兼任）体制について

2名の相談支援専門員（兼任）が主に行政や他事業者からの紹介で支援計画の作成を担った。兼任のため、居宅介護サービスとの業務分担が難しく、新規契約は4件に留まった。従来契約者についても、担当引継ぎを行った。

2. 収支バランスについて

グループホームとも連携し、世話人との業務分担を定期的に検討、実施した結果、新規契約にもつなげることができた。

3. 職員体制(平成28年3月31日現在)

○管理者 1名

○サービス提供責任者 女性1名、男性3名（相談支援員兼任2名、専任2名）

○非常勤ヘルパー 52名（女性：29名、男性：23名）

○登録ヘルパーの数と変化

・登録ヘルパーの月別登録者名（8名）

5月：(男性1人・女性1人) 7月：(女性1人)

8月：(男性1人・女性1人) 10月：(男性1人)

11月：(女性1人) 1月：(男性1人) 3月：(女性1人)

※8月、11月に登録をした女性は共に以前在籍していた事もあり、期間が空いている為、再登録扱いとなる。

・登録ヘルパーの月別退職者（4名）

4月：(女性3人) 3月：(男性1名)

※新年度の契約更新に至らず、退職となる。

4. 利用者数と変化

○平成27年度中の新規契約者性別とサービス内容：(15名)

- 4月 男性 移動支援 (家族様より登録ヘルパーに依頼があり契約)
- 4月 男性 介護保険 (他の事業所より引き継ぎ契約)
- 4月 女性 家事援助 (登録ヘルパーよりの紹介で契約)
- 5月 女性 移動支援 (家族様より依頼があり契約)
- 5月 女性 移動支援 (家族様より依頼があり契約)
- 5月 女性 介護保険 (当事業所で移動支援も行っている為契約)
- 7月 女性 移動支援・家事援助 (他事業所から依頼があり契約)
- 7月 男性 家事援助 (相談支援事業所より依頼があり契約)
- 8月 女性 移動支援 (相談支援事業所より依頼があり契約)
- 9月 女性 重度訪問 (ご本人様より当事業所に依頼があり契約)
- 10月 男性 移動支援・家事援助 (当事業所の利用者家族様よりの紹介で契約)
- 11月 男性 移動支援 (家族様より登録ヘルパーに依頼があり契約)
- 11月 女性 同行援護 (過去に解約していたが再契約となる)
- 1月 男性 移動支援 (相談支援事業所より依頼があり契約)
- 1月 男性 移動支援 (相談支援事業所より依頼があり契約)

○平成26年度中の解約者性別と解約に至った内容：(4名)

- 4月 男性 (他県施設入所中の為今後の利用は無いと家族様が判断し解約)
- 4月 女性 (介護保険に伴う、移動支援の支給申請を行わなかった為解約)
- 6月 女性 (グループホーム入居に伴う解約)
- 6月 女性 (グループホーム入居に伴う解約)

(平成27年3月31日現在：83人)

○利用者の変化

- ・28年1月より重度訪問を利用していた女性利用者1名がパーキンソン病が見つかった事に伴い、介護保険が適応となる。要介護5に認定されている事もあり、介護保険と同時に重度訪問の支給も受けている。
- ・28年5月より男性利用者1名が65歳を迎えられ、要支援1の認定を受ける。それに伴い、移動支援で行っていた通院を障害サービスの通院等介助にて行う事となる。
- ・27年12月より独居だった重度訪問を利用していた男性利用者1名がグループホームに入居が決まった事に伴い、重度訪問から移動支援と通院介助の支給となる。
- ・27年7月より身体介護と家事援助を利用していた女性利用者1名が重度訪問の支給となる。
- ・27年9月より介護保険適用中の男性利用者1名が入院となる。現在も契約関係はあるが、リハビリ病院に入院中の為、今後の見通しがついていない。
- ・27年4月1日から28年3月31日までの1年間で契約関係にあり、1度も利用

されていない利用者は男性4名、女性2名となっている。

5. 介護保険の経過

- ・現在介護保険のサービスで契約関係にある利用者は男性2名、女性2名となっている。うち、男性1名は現在入院中の為利用は無い。今後も、65歳を迎え介護保険に移行される見込みの利用者が多数控えている為、継続し対応出来るように検討していく。

6. 泉大津市移動支援事業申請・開始後の経過

- ・27年8月に契約した女性利用者が9月より泉大津市から生活保護を受給する事となり、その兼ね合いで泉大津市から移動支援の支給を受ける事になり、担当の相談支援員と話し合いを行った結果、泉大津市での移動支援事業を行う事となる。現在、泉大津市から移動支援の支給を受けている利用者は女性1名のみ。

7. 前年度との請求額の変化

○サービス提供時間と収入金額の変化

| | 稼働時間数 | | ケア件数 | | 収入金額 (単位：千円) | |
|-----|--------|--------|------|------|-----------------|-------|
| | 26年度 | 27年度 | 26年度 | 27年度 | 26年度 | 27年度 |
| 4月 | 1544.0 | 1733.5 | 67 | 68 | 3,705 | 4,352 |
| 5月 | 1579.5 | 2040.5 | 67 | 74 | 3,753 | 5,075 |
| 6月 | 1577.5 | 1881.0 | 70 | 68 | 3,694 | 4,796 |
| 7月 | 1555.0 | 1908.0 | 66 | 72 | 3,664 | 4,740 |
| 8月 | 1487.0 | 1825.5 | 64 | 72 | 3,523 | 4,537 |
| 9月 | 1584.0 | 1759.5 | 68 | 73 | 3,729 | 4,276 |
| 10月 | 1567.5 | 1812.5 | 65 | 77 | 3,775 | 4,423 |
| 11月 | 1683.5 | 1812.5 | 68 | 78 | 4,029 | 4,419 |
| 12月 | 1671.0 | 1745.0 | 69 | 77 | 4,094 | 4,228 |
| 1月 | 1580.5 | 1607.0 | 67 | 74 | 4,027 | 4,010 |
| 2月 | 1559.5 | 1624.0 | 65 | 79 | 3,882 | 4,066 |
| 3月 | 1662.5 | 1619.5 | 72 | 75 | 4,110 | 4,103 |
| 平均 | 1587.6 | 1629.6 | 67.3 | 73.9 | 3,832 | 4,418 |

※5月をピークとし、中期から後期にかけ、サービスの種別が変更になった利用者やグループホームに入居された利用者等の影響で数字の減少がみられる。

8. 会議及び研修開催

○らふたあ職員会議（サービス提供責任者会議）

- ・毎週水曜日の午後に行ってきた。（ケアの関係で日程の変更あり）
- ・情勢の変化、利用者、登録ヘルパー、職員の状況などの情報を共有し、問題、課題を検討しながら、解決にあたってきた。

○ヘルパー会議

- ・第3土曜日19:30～21:00（サニー・サイト）で開催している。（祝日やお盆期間等の兼ね合いで一部変更あり）
- ・第3土曜日の参加が難しい者のために、2回目の会議を月曜日～金曜日の10:30～12:00もしくは14:30～16:00で開催している。（ヘルパーが固定の支援に入っていることが多いため、1年間通してすべての曜日で最低1度は開催し、参加しやすいように考慮している）
- ・会議の年間開催予定は年度末に次年度の1年間の予定表を配布している。

○ヘルパー会議の出席人数

| | 参加者人数 | | 開催日の人数 | |
|-----|-------|-----|--------|-----|
| | 男性 | 女性 | 第3土曜日 | 2回目 |
| 4月 | 8 | 8 | 13 | 3 |
| 5月 | 8 | 8 | 11 | 5 |
| 6月 | 8 | 9 | 11 | 6 |
| 7月 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 8月 | 8 | 8 | 9 | 7 |
| 9月 | 11 | 6 | 10 | 7 |
| 10月 | 8 | 9 | 13 | 4 |
| 11月 | 6 | 8 | 12 | 2 |
| 12月 | 6 | 5 | 5 | 6 |
| 1月 | 4 | 5 | 6 | 3 |
| 2月 | 8 | 9 | 9 | 8 |
| 3月 | 7 | 6 | 6 | 7 |
| 平均 | 7.3 | 7.2 | 9.2 | 5.3 |

年間平均 参加者人数 14.5名

○ヘルパー会議の主な内容

- ・制度の変更などに伴う説明。
- ・法人からの報告。
- ・居宅介護・移動支援及び介護保険におけるミニ研修。
- ・処遇改善費の説明。
- ・移動支援ネットワークやその他外部研修の発信。

- ・移動支援等での外出先情報の発信。
- ・支援における注意点などの説明。
- ・ヘルパー同士の情報交換。

○外部研修

- ・移動支援ネットワーク・さかい主催の現任者研修

平成27年 5月15日（全身性障害）

平成27年 7月21日（知的障害）

平成27年 9月16日（知的障害）

平成27年11月20日（視覚障害）

平成28年 1月19日（精神障害）

- ・相談支援従事者研修（5日課程）修了 1名
- ・同行援護従事者研修（一般課程）修了 1名

○今後の課題

- ・ヘルパー会議の参加率を上げ、特定事業所加算取得に向け準備をする。
- ・ヘルパー会議内で研修の時間を設け、知識と技術の向上に努める。
- ・28年度より、介護福祉士国家試験を受験する為に、実務者養成研修を受講している事が必須となる。その為、受験を希望するヘルパーに資格取得に向け支援等の時間調整を行っていく。また、その他専門資格（同行援護、強度行動障害）の取得を促し、支援の幅を広げていく。

9. 福祉有償運送

○運転者：女性職員1名、男性職員3名 計4名

○使用車両

- ・セレナ、ハイエース（共にサニー・サイト所有車）
- ・タントスローパー（共同募金補助車両 らふたぁ所有車）

○実績

| 月 | 走行距離 | 人数 | 回数 | 月 | 走行距離 | 人数 | 回数 |
|-----|-------|----|-----|----|---------|-----|------|
| 4 | 42 km | 2人 | 7回 | 10 | 122 km | 5人 | 17回 |
| 5 | 91 km | 6人 | 15回 | 11 | 88 km | 5人 | 15回 |
| 6 | 93 km | 3人 | 10回 | 12 | 72 km | 5人 | 11回 |
| 7 | 96 km | 4人 | 12回 | 1 | 70 km | 4人 | 14回 |
| 8 | 49 km | 4人 | 10回 | 2 | 85 km | 4人 | 12回 |
| 9 | 82 km | 3人 | 12回 | 3 | 153 km | 8人 | 19回 |
| 合 計 | | | | | 1043 km | 53人 | 154回 |

10. 事故・苦情・緊急

○緊急・事故・苦情対応

- ・平成27年7月7日17:30頃（緊急）

居宅で見守り中に発作が起き、その場で倒れてしまった。（外傷なし）少し横になって頂き、安静にして頂く。30分程眠られ体調の回復が見られた。

- ・平成27年7月20日15:30頃（苦情）

移動支援中に、車椅子の備品（クッション）を紛失してしまった。その後自宅から駅までの道中を探すも見つからず、警察に届を出し謝罪。同様のクッションを購入し弁償する。

- ・平成27年8月20日17:20頃（事故）

浴室で手すりを持って立ち上がり介助を行った。しかし、足の運びが上手くいかず、体制を整えようとした時に、勢いに負けヘルパーの上半身ごと湯船に入ってしまった。（外傷なし）

- ・平成27年12月26日23:00頃（緊急）

移動支援から帰宅後に体調不良を訴え、病院に緊急搬送される。（軽い発作と貧血）結果、点滴をし自宅に戻られる。その後、体調の回復に数週間かかった。

- ・平成28年2月3日7:10頃（事故）

居宅で着衣介助中に、ゴム製の採尿器を破損させてしまった。本人と家族に謝罪する。新しい物が自宅にあった為、それを使わせて頂き対応をした。

- ・平成28年2月17日18:00頃（緊急）

利用者から精神科から処方されている薬の量を間違えて服薬してしまったと連絡があった。急遽利用者が通院している精神科病院に連絡を入れ、連絡を受けた内容を伝えると、少し眠気が強く出るだけで、生命の危険は無いとの事だった。その旨を本人に伝えると安心された。

- ・平成28年2月29日23:40（事故）

就寝介助中に、利用者自身が電動車椅子の電源を切り忘れていた。その状態で本人がタンスの整理を行っていた為、本人の腕が操作レバーにあたり車椅子が急発進し、転倒してしまった。（額に内出血ができた）その日は、病院に行かず、そのままベットで眠られた。後日、掛かり付けの整形外科に受診に行く。検査の結果は異状が無かったが、額の内出血は3週間程消えなかった。